



●うぐいす色の配色が特徴の三妻駅の駅舎。



●下館側に構内踏切がある。



●ホームは1面2線。列車交換も可能。



常総市マスコット
千姫ちやま

鬼怒川と小貝川に挟まれた三妻駅
駅北東では大規模開発が進む

桜の名所が多い常総市。その一つ、吉野公園の最寄り駅である関東鉄道常総線の三妻駅は、大正2年、常総線開業と同時に設置された。「三妻」の名称は、設置当時の地域の村名で、三坂村と中妻村が合併したことで三妻村となり、昭和29年に水海道町(現常総市)に編入された。

住宅と一体型の小さな駅だが、駅周辺は今後、常総市の拠点として、大きく発展していく。平成29年、三妻駅の北東約500メートルのところに首都圏中央連絡自動車道の常総ICが設置された。現在、常総IC周辺では、市の主要産業である農業を生かしたまちづくりとして、大規模な食と農の産業団地の建設が進められている。

春には吉野公園や三坂新田の桜で賑わう三妻地区。のどかな自然と開発の波が混在する地域をじっくりと散策したい。

Vol.94

駅からのふるさと紀行 関東鉄道 常総線

三妻駅

みなみ いしげ なか つま
南石下 中 妻

●次回は2月23日 ※イラストはイメージです。
「川島駅」を掲載予定です。



働く人と、世界を走る。

ISUZU

茨城いすゞ自動車株式会社

本社 / 〒310-0063 水戸市五軒町1-2-5 ☎029-225-1215(代)
<https://www.ibaraki-isuzu.co.jp>

アグリサイエンスバレー事業



圏央道常総IC周辺45haの開発として「食と農」をテーマにしたまちづくりが進められている。「食」は食品加工や物流関連の企業誘致、「農」は農地を活用した大規模施設園芸等を展開。道の駅や民間集客施設、観光農園等も集客ゾーンとして整備され、地方創生に向けた賑わいの場となる。令和4年度末に全体完成予定。

●福雷橋



小貝川を挟んで常総市とつくば市上郷を結ぶ趣のある小さな橋。映画やドラマのロケ地として、非常に人気のあるスポット。

●吉野公園の桜



日中は多くの人のがんびりと釣り糸を垂れる吉野公園。気象条件により独特の色合いが楽しめる「朝焼け」を眺めに来る人もいる。

●サイクリングロード

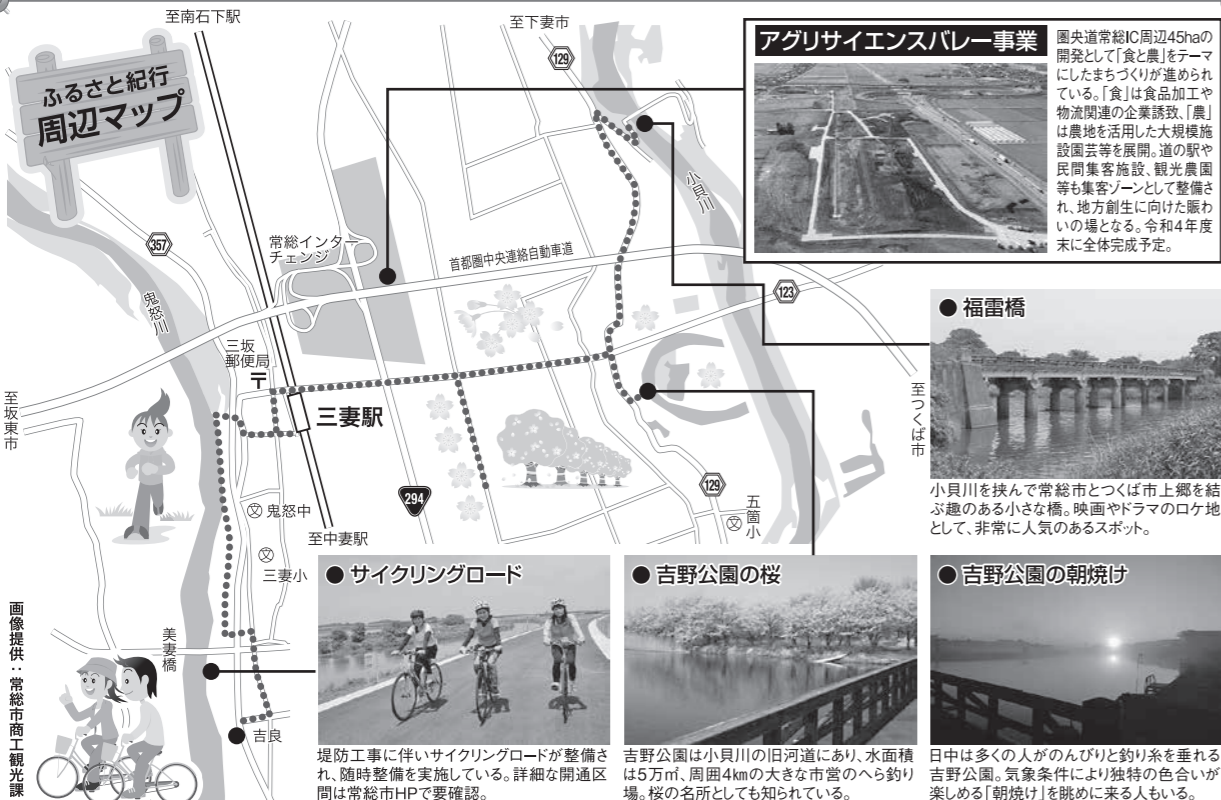


堤防工事に伴いサイクリングロードが整備され、随時整備を実施している。詳細な開通区間は常総市HPで要確認。

●吉野公園の桜



吉野公園は小貝川の旧河道にあり、水面積は5万㎡、周囲4kmの大きな市営のへら釣り場。桜の名所としても知られている。



●散策コース●

鬼怒川と小貝川に挟まれた三妻駅。まずは駅の西側を流れる鬼怒川へ向かう。鬼怒川は平成27年の関東・東北豪雨を受け、堤防の改修工事が行われていた。常総市の堤防はほぼ繋がり、昨年にはサイクリングロードが供用を開始。この道は散策にも格好のコースとなっている。サイクリングロードを下流(中妻駅方面)に歩いて行くと、地元のコシヒカリを使った和食が人気の「海鮮すし吉良」があり、ランチにオススメ(写真)。

次は県道・土浦坂東線を通して東側の小貝川を目指す。常総インターチェンジ周辺で開発のつち音が響く国道294号を超えて1つ目の道路は

桜並木が続く、春には美しい光景を見せる。小貝川の手前には吉野公園がある。全国でも珍しい市営のへら釣り場で、釣り愛好家が集う場所であるとともに、春には池の周りに植えられた桜が美しく、多くの花見客で賑わう。

吉野公園を満喫したら、県道・下妻常総線を北上して福雷橋へ。小貝川に架かる常総市とつくば市を結ぶ古い橋は、昭和初期に建設された。撮影ロケによく使われ、テレビドラマの『モテキ』をはじめ『山田太郎ものがたり』、『びんとこな』、『金田一耕助VS明智小五郎ふたたび』など、多くの作品で、独特の存在感を放っている。



「海鮮すし吉良」のランチ
画像提供：常総市商工観光課